

浜田市定住自立圏共生ビジョン 成果指標の進捗状況

(平成28年度実績)

1 調査方法

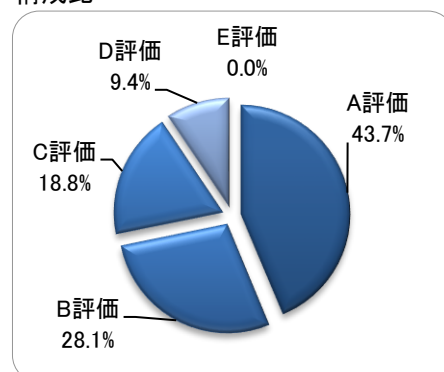
32項目の目標に対する平成28年度末の現状値から平成28年度の進捗状況を評価した。

2 調査結果

(1) 各年度の進捗評価

- 「A」 計画どおり、又はそれ以上の成果・実施があった
- 「B」 計画を少し下回る成果・実施があった
- 「C」 計画の半分程度の成果・実施となった
- 「D」 計画を大きく下回る成果・実施となった
- 「E」 ほとんど成果・実施がなかった

構成比



(2) 「成果指標」の進捗状況

	項目数	進捗状況				
		A評価	B評価	C評価	D評価	E評価
1 生活機能の強化に係る取組	13	6	4	3	0	0
A 医療	1	0	1	0	0	0
B 福祉	6	4	1	1	0	0
C 教育	2	0	2	0	0	0
D 産業振興	4	2	0	2	0	0
2 結びつきやネットワークの強化に係る取組	16	7	3	3	3	0
A 地域公共交通	3	0	1	2	0	0
B デジタル・ディバイドの解消に向けたICTインフラ整備	1	0	0	0	1	0
C 道路等の交通インフラの整備	5	2	1	1	1	0
D 地域の生産者や消費者等の連携による地産地消	1	1	0	0	0	0
E 地域内外の住民との交流・移住促進	6	4	1	0	1	0
3 圏域マネジメント能力の強化に係る取組	3	1	2	0	0	0
A 宣言中心市等における人材の育成	3	1	2	0	0	0
合 計	32	14	9	6	3	0
	(100.0%)	(43.7%)	(28.1%)	(18.8%)	(9.4%)	(0.0%)

1 生活機能の強化に係る取組 **13項目**

A 医療

エ へき地医療確保体制の充実

成果指標	策定時現状値	目標値	平成28年度現状値	目標達成率	進捗評価	担当課
① 浜田市国民健康保険診療所の常勤医師数の増加（へき地診療所等5施設） ※中山間地域の医療を支えるへき地診療所等の医師の人数	3人	4人	3人	0.0%	B	地域医療対策課
【進捗状況】 平成27年度から浜田医療センターに常勤医師を1人派遣しており、現在1人減の状態となっている。地域医療対策課専属の医療専門監が診療所長を兼務して、減員分を補っている。						
【今後の取組】 平成30年度には、欠員分常勤医師1人の採用予定者があるため、平成29年度は現行体制で対応する。						

B 福祉

ア 子育て支援環境の整備

成果指標	策定時現状値	目標値	平成28年度現状値	目標達成率	進捗評価	担当課
① 認可保育所定員数の増加 ※認可保育所の定員数	1,895人	1,955人	1,875人	-33.3%	A	子育て支援課
【進捗状況】 計画策定時の現状値は、1園の施設整備による定員20人の増を見込み1,895人としていたが、以降、入園申込状況から2園で20人の定員を減らしたことから実質は1,875人となっていた。以上のことから平成28年度現状値は横ばいであったが、平成28年度中に保育所2園の施設整備が完了したことに伴い、平成29年度の定員数は1,980人となっている。						
【今後の取組】 平成29年度に1園の施設整備を予定しており、定員数が10名増える見込みである。						
② 放課後児童クラブ定員数の増加 ※放課後児童クラブの定員数	790人	850人	790人	0.0%	B	子育て支援課
【進捗状況】 3クラブの施設を整備し、平成29年4月時点で定員825人とした。						
【今後の取組】 施設の増設と定員の適正化を行い、受け入れ児童の拡大を目指す。						
③ 地域子育て支援拠点数の増加 ※地域子育て支援拠点数	2施設	3施設	2施設	0.0%	A	子育て支援課
【進捗状況】 三隅地区で地域子育て支援拠点の開設に向けて委託先予定法人と協議を行った。開設準備費補助を平成29年度当初予算に計上し、平成30年度に1施設増とする。						
【今後の取組】 平成29年度施設整備、平成30年度事業開始を目指す。						

イ 高齢者・障がい者福祉サービスの充実

成果指標	策定時現状値	目標値	平成28年度現状値	目標達成率	進捗評価	担当課
① 要介護認定率の増加の抑制（要介護者のみ） ※65歳以上の高齢者のうち、要介護1以上の認定者の割合	18.8%	19.6%	18.7%	112.5%	A	健康長寿課
【進捗状況】 1号被保険者19,762人のうち、要介護1以上の認定を受けた者は3,688人であった。						
【今後の取組】 介護予防事業等を引き続き実施し、認定率増加の抑制を図る。						

②	認知症サポーター養成講座受講者数の増加 ※認知症の人と家族を地域で見守る応援者養成講座の受講者の総数	3,696人	6,000人	5,262人	68.0%	A	健康長寿課
【進捗状況】 小学校や高校などの教育現場でも開催し、835人が受講した。							
【今後の取組】 地域住民ばかりでなく、企業等への受講者の拡大を図る。							
③	地域生活支援拠点数の増加 ※障がい者の地域生活を支援する機能を集約した拠点数	0か所	1か所	0か所	0.0%	C	地域福祉課
【進捗状況】 市内社会福祉法人が、同法人が運営する老朽化したグループホームの整備に併せて、地域生活支援拠点整備を検討している。							
【今後の取組】 地域生活支援拠点の整備は、事業実施する社会福祉法人等の人材確保やハード面の課題もある。事業実施可能な法人と連携しながら協議を進める。							

C 教育

A 読書活動の強化

	成果指標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
①	図書館利用登録率の増加 ※市民の図書館利用者カード登録者の割合	34.3%	40.0%	36.3%	35.1%	B	中央図書館
【進捗状況】 平成25年度の中央図書館・三隅図書館開館以来、利用者数は安定的に伸びており、金城図書館の移転による一定程度の利用者数の増加傾向もうかがえるが、目標達成に向けてさらに努力が必要である。							
【今後の取組】 子育て支援の一環として「ブックスタート」の取組を関係部署と連携して行い、幼児期からの読書習慣化と併せて利用登録の増加につなげる。							
②	市民一人当たりの図書貸出冊数の増加 ※市民一人当たりの年間の図書貸出冊数	5.0冊	7.0冊	5.4冊	20.0%	B	中央図書館
【進捗状況】 市民への貸出冊数はほぼ横ばいで推移している。中央図書館・三隅図書館の認知度の向上と金城図書館移転による利便性の向上などから微増となった。							
【今後の取組】 平成28年度に需要の高い雑誌への購読切替を行い、新たな利用者層の増加を図った。また、施設を訪問したことがない市民にも関心が向く、各種催し・イベント等を通じて図書館の認知度向上を図っていく。							

D 産業振興

A 観光振興

	成果指標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
①	宿泊客数の増加 ※市内のホテル・旅館・民宿等の年間（1月～12月）宿泊客数	225,043人	250,000人	237,352人	49.3%	A	観光交流課
【進捗状況】 様々な取組が少しずつ成果につながっている。							
【今後の取組】 引き続き宿泊者数客の増加のため、各種政策に取り組む。							
②	合宿等誘致人数の増加 ※合宿等誘致事業の年間利用人数	3,642人	5,000人	3,634人	-0.6%	C	観光交流課
【進捗状況】 市内合宿施設への営業活動を行い、合宿誘致活動を実施している。申請件数は過去6年間で最高だったものの、各申請団体の構成人数が少なかったため目標値に到達しなかった。							
【今後の取組】 市外・県外施設への営業活動や体験教育旅行の誘致の取組を行い、合宿誘致人数の増に努める。							

イ 地域ブランド化

成果指標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
① 「どんちっち」ブランド加盟業者数の増加 ※ブランド規格に基づく「どんちっち三魚」の取扱業者（団体）数	130店	140店	136店	60.0%	A	水産振興課
【進捗状況】 新規9件の加盟があったが、廃業等による退会が3件あった。						
【今後の取組】 近年の加盟業者の傾向としては、市外・県外の事業者の割合が高くなっている。今後も認知度の向上に努め、広域的な展開を図る。						
② 振興作物農業産出額の増加 ※振興作物（大粒ぶどう、赤梨、西条柿）の農業産出額	173,295千円	200,000千円	158,671千円	-54.8%	C	農林振興課
【進捗状況】 市単独の農産物振興プロジェクト事業補助金の活用により、農業用施設整備や補植等の実施で園地の維持を図るとともに、生産量の確保に努めている。農業産出額の減った要因としては、昨年9月の長雨による天候不順の影響や、特に梨では黒星病が発生したことにより生産量が大幅に減った。						
【今後の取組】 西条柿については、加工施設の整備やあんぼ柿の生産拡大により農業産出額の向上を図る。梨については、荒廃園地を整備後、ジョイント栽培による早期成園化や既存園の改植を進め、園地を維持することで生産量の拡大を図る。大粒ぶどうについては、リース事業を導入し、面積及び生産量の拡大を目指す。						

2 結びつきやネットワークの強化に係る取組

16項目

A 地域公共交通

ア 地域公共交通網の連携と生活交通の確保

成果指標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
① 生活路線バス1便当たり利用者数の維持 ※生活路線バス1便当たりの年間利用者数	2.0人/便	2.0人/便以上	1.6人/便	-20.0%	C	まちづくり推進課
【進捗状況】 人口減少と、バスに乗ることのできない高齢者の増加が減少の要因と考える。一方、「敬老乗車券販売」「通学定期券購入費補助」を実施し、住民の移動手段への経済的支援を開始した。						
【今後の取組】 路線ごとの便数、ルート等を見直すとともに、それぞれの地域に合った交通体制の構築を目指す。						
② 予約型乗合タクシー1便当たり利用者数の維持 ※予約型乗合タクシー1便当たりの年間利用者数	1.8人/便	1.8人/便以上	1.5人/便	-16.7%	C	まちづくり推進課
【進捗状況】 利用対象者の減少が主な要因と考える。一方、「敬老乗車券販売」「通学定期券購入費補助」を実施し、住民の移動手段への経済的支援を開始した。						
【今後の取組】 路線ごとの便数、ルート等を見直すとともに、それぞれの地域に合った交通体制の構築を目指す。						
③ 輸送事業に取り組む地域自主組織数の増加 ※主体的に輸送事業に取り組む地域自主組織の数	1団体	3団体	1団体	0.0%	B	まちづくり推進課
【進捗状況】 新たに輸送事業を開始した組織は見られなかったが、2地区においてモデル事業として、コミュニティワゴン（市からの無償貸与の自家用車）導入による輸送活動の検討が進んでいる。						
【今後の取組】 地域の自主的な輸送事業のモデルとなるようコミュニティワゴン導入を進める。						

B デジタル・ディバイドの解消に向けたICTインフラ整備

ア 地域公共交通網の連携と生活交通の確保

成果指標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
① 携帯電話不感地域の解消 ※携帯電話が利用できない集落の数	8集落	0集落	8集落	0.0%	D	情報政策課
【進捗状況】 携帯基地局の整備に関しては、国の補助事業等を活用して携帯事業者の初期負担をほとんどなくす枠組みを設けているが、採算性の問題から事業者の参画が進まなかった。						
【今後の取組】 引き続き、携帯事業者に対して参画の要請を行う。						

C 道路等の交通インフラの整備

ア 生活幹線道路の整備

成果指標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
① 市道浜田527号線道路改良 ※〔浜田自治区〕浜田駅周辺の市道を整備し、駅南北の連絡を円滑にする。	0%	100%	5%	5.0%	C	建設整備課
【進捗状況】 道路設計はほぼ完了したが、踏切部の詳細設計には至っていない。用地測量、物件調査については一部完了している。						
【今後の取組】 工事着手し、早期完成を目指す。						
② 市道小国峠線道路改良 ※〔金城自治区〕狭小な市道の改良を行う。	0%	50%	0%	0.0%	D	建設整備課
【進捗状況】 県河川、県道改良に伴う事業のため、島根県と協議を進めている。						
【今後の取組】 島根県との協議を重ね、事業に着手する。						
③ 市道戸地線道路改良 ※〔旭自治区〕集落間を結ぶ幹線市道の整備を行う。	10%	40%	13%	10.0%	B	建設整備課
【進捗状況】 測量設計、用地測量調査の完了後、用地取得、補償業務を実施し、工事に着手した。						
【今後の取組】 引き続き、用地取得、補償業務、工事を実施し、早期完成を目指す。						
④ 市道谷線道路改良 ※〔弥栄自治区〕主に突角剪除を行う。	0%	50%	54%	108.0%	A	建設整備課
【進捗状況】 1～4工区の内、2.3工区が完成し、4工区について継続実施している。						
【今後の取組】 4工区の工事完了後、1工区の工事に着手し、早期完成を目指す。						
⑤ 市道白砂1号線道路改良 ※〔三隅自治区〕急カーブ、狭小市道の改良、及び集落の環状機能の充実を図る。	30%	50%	64%	170.0%	A	建設整備課
【進捗状況】 測量設計、用地測量調査が完了し、用地取得、補償についてはほぼ完了した。工事も継続実施している。						
【今後の取組】 引き続き、工事実施を進め、早期完成を目指す。						

D 地域の生産者や消費者等の連携による地産地消

ア 地産地消の推進

成果指標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
① 学校給食での地域食材利用率の増加 ※市内小中学校の給食における地元食材利用率	58.2%	70.0%	70.9%	107.6%	A	教育総務課
【進捗状況】 各センター・学校の栄養士・栄養教諭の意識の高まりと献立の工夫、JAコーディネーター配置による定期的な情報提供等の連携により、県内8市の中で1位の率となった。						
【今後の取組】 引き続き、産業経済部との連携を図り、地元産食材を使用していく。また、食育の教材としても活用を検討する。						

E 地域内外の住民との交流・移住促進

ア 定住施策の充実

成果指標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
① U・Iターン者数の増加 ※各種支援制度を通じたU・Iターン者数	34人	50人	57人	143.8%	A	政策企画課
【進捗状況】 定住相談員を配置し、U・Iターン希望者の住居確保や雇用等についての相談対応、都市部において実施されるU・Iターンフェア等に参加し、定住の推進を図った。						
【今後の取組】 ふるさと島根定住財団等関係機関、関係部署との連携を図り、U・Iターンフェア等を効率的に活用し、定住に結びつく取組を行う。						
② U・Iターン者との意見交換会の開催回数の増加 ※意見交換会の年間開催回数	1回	3回	2回	50.0%	B	政策企画課
【進捗状況】 シングルペアレント介護人材育成事業の新規研修生受入時に歓迎交流会を行い、意見交換を行った。						
【今後の取組】 今後の新規研修生受入時には、引き続き、意見交換会を開催するとともに、シングルペアレント介護人材育成事業以外のU・Iターン者との意見交換会の場を検討していく。						
③ U・Iターン相談件数の増加 ※定住フェア、空き家バンク制度等を通じた年間相談件数	255人	300人	286人	68.9%	A	政策企画課
【進捗状況】 シングルペアレント介護人材育成事業の募集に伴い、Iターンの相談件数が増加した。						
【今後の取組】 引き続き、U・Iターンの相談窓口として適切に相談対応ができるよう関係機関と連携し、また日常相談件数の増加に向けてこれまでの相談対応を点検し、充実したフォローアップに努める。						

イ 空き家の利活用

成果指標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
① 空き家バンク登録件数の増加 ※空き家バンクへの年間登録物件数	13件	20件	66件	757.1%	A	政策企画課
【進捗状況】 市のHP及び広報等で新たな空き家登録の周知を行い、また家財処分や物件改修の補助金を創設したことにより、空き家バンク登録が急増している。						
【今後の取組】 引き続き、広報、HPやSNS等を活用しながら制度の周知に努め、関係機関と連携し、U・Iターン者等の住環境を充実させた取組を行う。						

ウ 安全で安心なまちづくり

成果指標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
① 自主防災組織の組織率の増加 ※世帯数に対する組織された地域の世帯数の割合	46.5%	85.0%	65.8%	50.1%	A	安全安心推進課
【進捗状況】 防災の取組をしている地区まちづくり推進委員会も自主防災組織として組織率に算入した。						
【今後の取組】 引き続き、防災出前講座等を活用し、自主防災組織設立を働きかけていく。						
② 防犯出前講座の開催回数の増加 ※講座の年間開催回数	6回	40回	5回 ↓	-2.9%	D	安全安心推進課
【進捗状況】 防犯出前講座の申込数が少ない状況であった。周知の方法や、市民の関心を引くことに課題を残している。						
【今後の取組】 「防犯」という枠にとらわれず、防災出前講座や各課の主催する集会（高齢者対象）に同行し、積極的に実施していく。						

3 圏域マネジメント能力の強化に係る取組

3項目

A 宣言中心市等における人材の育成

ア 人材の育成

成果指標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
① 市民交流促進事業実施件数の増加 ※大学等と市民団体とが実施する交流事業の6年間の合計件数	6件	50件	12件	24.0%	A	まちづくり推進課
【進捗状況】 交流事業申請件数が増加し、学生の地域活動への参画を促すことができた。						
【今後の取組】 新たな交流が生まれるよう学生、地域双方に積極的に周知を図る。						
② 人材育成研修会等の開催回数の増加 ※地域リーダー育成に関する研修会の年間開催回数	2回	6回	3回	25.0%	B	まちづくり推進課
【進捗状況】 初めての試みとして、地区まちづくり推進委員会において地域活動を担う市民による「先進地視察」とその後の「報告会」を開催した。地域を越えた地域リーダー同士の交流と連携につながったと考える。						
【今後の取組】 地区まちづくり推進委員会へのヒアリングで要望の多かった地域を越えた交流や研修会を積極的に実施する。						
③ 審議会等への女性参画率の増加 ※浜田市男女共同参画推進計画に掲げる審議会等への女性参画率	25.2%	40.0%	27.1%	12.8%	B	人権同和教育啓発センター
【進捗状況】 女性委員の登用に努めている。男女共同参画推進計画（第3次）を作成し、参画に向けて基本的な方向と具体策を示した。						
【今後の取組】 女性の視点に立った政策や方針決定ができるよう、男女共同参画推進計画の周知や各課との連携、啓発を図っていく。						